



Market View 7月号

株式市場

日経平均株価：次第に持ち直しへ



- 株価には売られ過ぎ感が見られ、投資家の慎重姿勢も強まっている。国内景気モメンタムの底打ちや中国経済への刺激策が打ち出されれば次第に持ち直そう。

NYダウ：緩やかに上昇



- 米国の景気、企業業績の拡大は継続する見込み。ただし、金融引締めや、通商政策への不透明感、賃金上昇によるマージン悪化が警戒され上昇ペースは徐々に緩やかに。

債券市場

日本10年国債：横ばい圏での推移



- 日銀は物価見通しを下方修正する見込みであり、YCCの修正期待が後退している状況。但し、金融緩和長期化による副作用についての議論が徐々に高まっており、中期的には金利上昇要因となりうる。

米国10年国債：緩やかな上昇



- 堅調な米景気を背景にFRBは漸進的な利上げを継続し、緩やかな上昇基調を辿ると予想。ただし、米中を中心とした通商問題を巡る不透明感から、金利上昇ペースは緩慢なものに。

(1/2)

※2017年7月31日から2018年7月19日までのデータは実績値。2018年9月末、12月末、2019年3月末の値は当社予想。各種データをもとに大和住銀投信投資顧問作成

本資料に示す当社予想は、特に断りのない限り本資料作成日現在における大和住銀投信投資顧問運用部門の見解です。また、大和住銀投信投資顧問が設定・運用する各ファンドにおける投資判断がこれらの見解に基づくものとは限りません。

■当資料は情報提供を目的として大和住銀投信投資顧問が作成したものであり、特定の投資信託・生命保険・株式・債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料に記載されている今後の見通し・コメントは、作成日現在のものであり、事前の予告なしに将来変更される場合があります。■当資料内の運用実績等に関するグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。



資産運用のベストパートナー、だいむすびざん

大和住銀投信投資顧問

Daikoku SB Investments



Market View 7月号

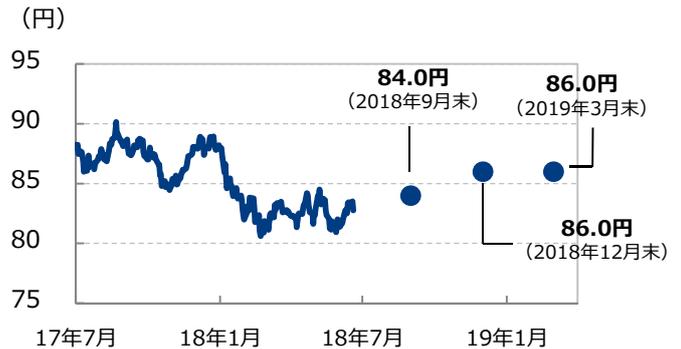
為替市場

米ドル/円：緩やかに円安へ



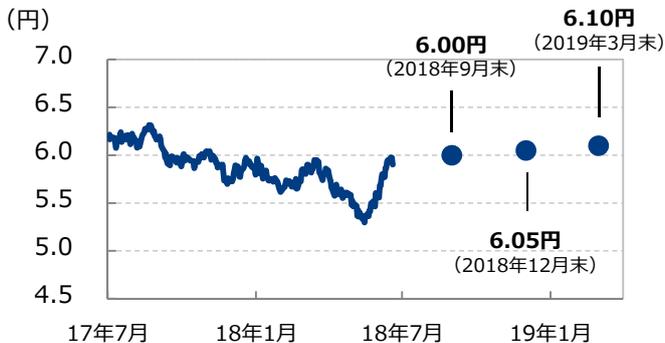
- 米国の好調な景気と、FRBによる利上げを受けて、米ドル円は緩やかな円安に向かう見込み。当面は貿易保護主義への懸念などがリスク要因。

豪ドル/円：緩やかな上昇



- 米中貿易摩擦の行方が豪ドルの重石となるものの、インフラ投資が豪州経済を下支えするものとみられ、豪ドル円相場は引き続き緩やかな上昇を予想。

メキシコペソ/円：緩やかに上昇



- 9月新議会発足、12月新大統領就任というスケジュールの中で、新政権の政策方針が明らかに。
- 目先は新政権の政策姿勢に伴う不確実性から上昇ペースは緩やかなものに。

ブラジルリアル/円：上値が重い展開



- 大規模ストライキによる経済指標の軟化、大統領選の不確実性などから、上値が重い展開となろう。
- ただし、ブラジル中銀の通貨介入姿勢はサポート要因。

(2/2)

※2017年7月31日から2018年7月19日までのデータは実績値。2018年9月末、12月末、2019年3月末の値は当社予想。各種データをもとに大和住銀投信投資顧問作成

本資料に示す当社予想は、特に断りのない限り本資料作成日現在における大和住銀投信投資顧問運用部門の見解です。また、大和住銀投信投資顧問が設定・運用する各ファンドにおける投資判断がこれらの見解に基づくものとは限りません。

■当資料は情報提供を目的として大和住銀投信投資顧問が作成したものであり、特定の投資信託・生命保険・株式・債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料に記載されている今後の見通し・コメントは、作成日現在のものであり、事前の予告なしに将来変更される場合があります。■当資料内の運用実績等に関するグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。



資産運用のベストパートナー、だいむすびざん

大和住銀投信投資顧問

Daewoo SB Investments